

関係機関との緊密な連携により渇水を乗り切る

～最上川水系渇水対策支部(注意体制)の解除について～

最上川流域では、5月以降の少雨による流量の減少のため、東北地方整備局山形河川国道事務所、酒田河川国道事務所、新庄河川事務所及び最上川ダム統合管理事務所では、平成27年8月6日14時に「最上川水系渇水対策支部(注意体制)」を設置し、河川流況やダムの貯水状況の監視強化を行うとともに、関係機関との情報共有や連携強化を行ってきました。

今般、8月中旬からの降雨により最上川の流量が回復するとともに、9月上旬でかんがい用水の取水が終了となり、ダムの貯水量も今後の水利用に支障がない状況となりましたので、9月4日14時に注意体制を解除しました。

注意体制期間中は、関係機関との情報共有や連携、利水者による節水等の取り組みにより渇水を乗り切ることができました。

■渇水対策期間中の流況概要(添付資料参照)

- 最上川流域では、5月から8月上旬までの降雨量が平年の約60%程度と少ない状況でした。
- このため、5月頃から河川流量が低下して5ヶ年平均流量を下回り、平成24年渇水相当か、それ以下となった観測所もあります。
- 糠野目、高屋、中郷、真木の4観測所で、基準流量を下回りました。
- 8月中旬以降は断続的な降雨により、最上川の流況が徐々に回復しています。
- 白川ダムにおいては、7月から8月の降雨量がダム完成以来最低を記録しました。

■現在の流況

単位：m³/s

観測所名	基準流量 (正常流量)	9月4日 9時現在	備考
糠野目(高島町糠野目)	3.00	8.26	最上川
小出(長井市字小出)	7.00	30.38	〃
中郷(寒河江市大字中郷)	11.00	45.49	〃
稲下(村山市字南河島)	30.00	103.19	〃
高屋(戸沢村大字古口)	60.00	201.71	〃
真木(鮭川村大字佐渡)	9.45 (直近の5ヶ年平均渇水流量)	17.49	最上川 支川 鮭川

*平成27年の流量は暫定値であり、確定値ではありません。

「基準流量」とは、渇水対策支部設置の基準となる流量で、正常流量を基準としています。

「正常流量」とは、河川の正常な機能(舟運、漁業、動植物の生息、流水の使用)を維持するために必要な流量をいいます。

「渇水流量」とは、1年を通じて355日を下らない流量をいいます。

発表記者会：山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部、酒田記者クラブ、鶴岡記者会
新庄新聞放送記者会、酒田エフエム、エフエム山形、コミュニティ新聞社

問 い 合 わ せ 先



国土交通省 東北地方整備局

最上川上流
(米沢市～村山市)

山形河川国道事務所
山形市成沢西4丁目3-55
電話 023-688-8942 (代表)
副所長(河川担当) 水越 崇 (内線204)
河川管理課長 鈴木 浩 (内線331)

最上川中流
(大石田町～戸沢村)

新庄河川事務所
新庄市小田島町5-55
電話 0233-22-0251 (代表)
副所長(河川担当) 佐藤 要 (内線204)
管理課長 横山 孝臣 (内線331)

最上川下流
(戸沢村～酒田市)

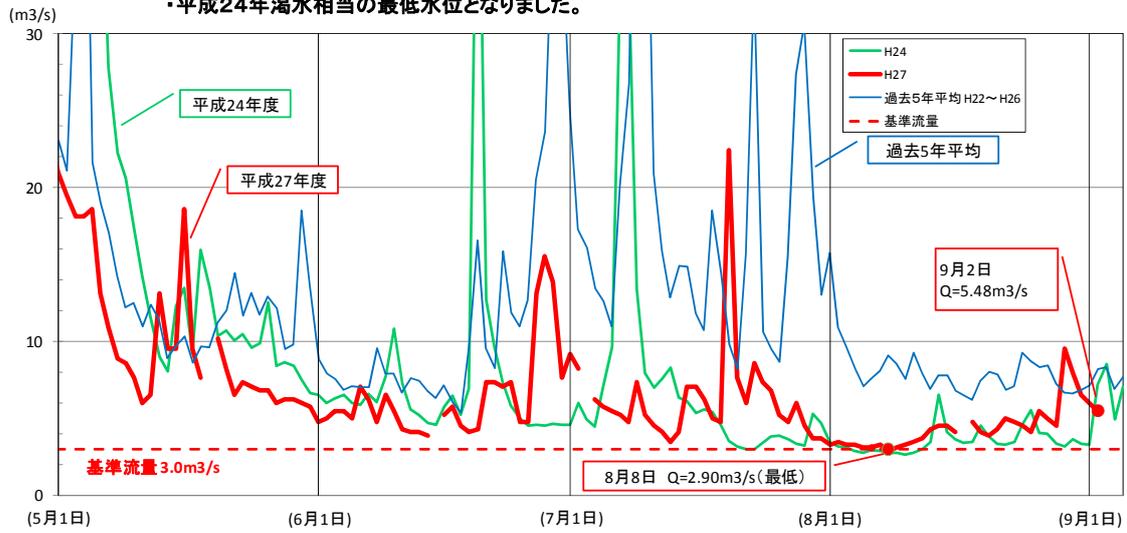
酒田河川国道事務所
酒田市上安町1丁目2-1
電話0234-27-3331 (代表)
副所長(河川担当) 森 禎一 (内線204)
河川管理課長 荒木 秀重 (内線331)

寒河江ダム、白川ダム
長井ダム

最上川ダム統合管理事務所
西村山郡西川町大字砂子関158
電話0237-75-2311
副所長(技術) 高橋 長幸 (内線204)
管理課長 大河原 正吉 (内線331)

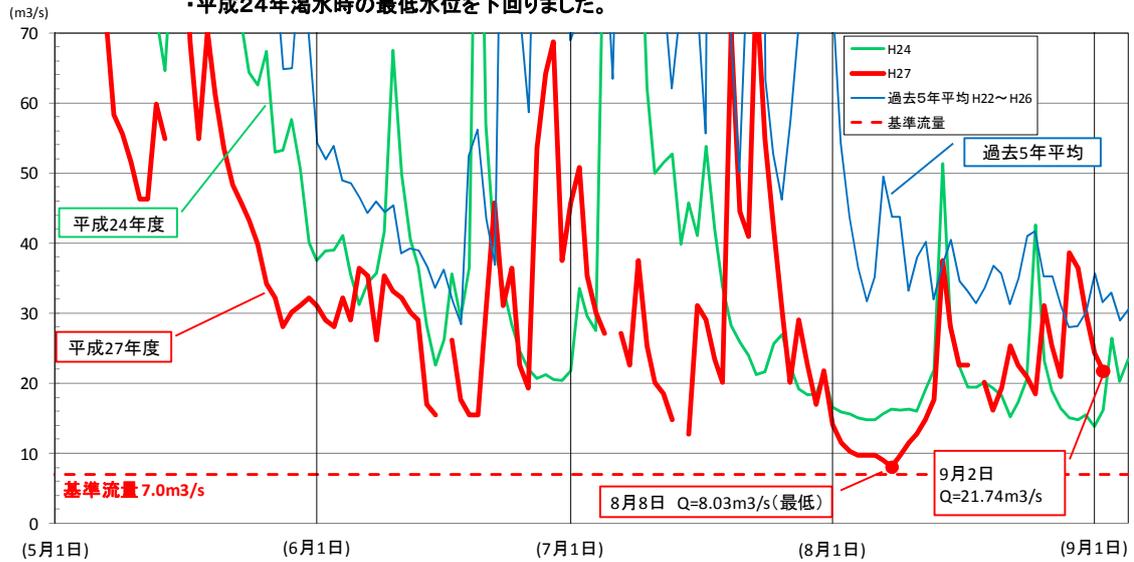
◆最上川の流況(糠野目観測所)

- ・基準流量付近の流量が5日間程度続き、うち1日基準流量を下回りました。
- ・平成24年渇水相当の最低水位となりました。



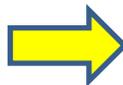
◆最上川の流況(小出観測所)

- ・平成24年渇水時の最低水位を下回りました。



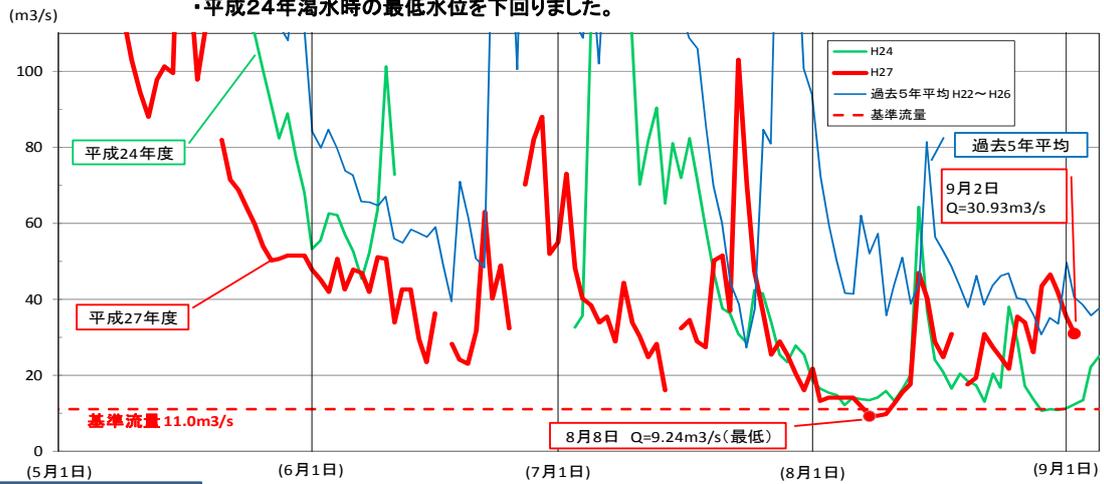
最上川(長井橋)

- ・最低流量付近(8/6)と最近(9/3)の河川状況の比較



◆最上川の流況(中郷観測所)

- ・基準流量付近の流量が10日間程度続き、うち3日基準流量を下回りました。
- ・平成24年渇水時の最低水位を下回りました。



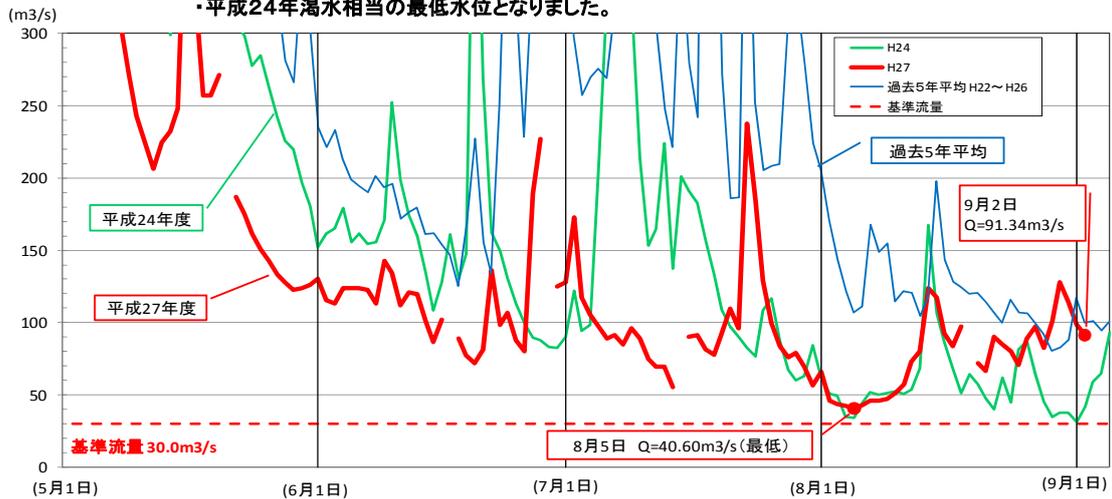
最上川(此の木橋)

・最低流量付近(8/4)と最近(9/1)の河川状況の比較



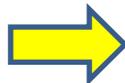
◆最上川の流況(稲下観測所)

- ・平成24年渇水相当の最低水位となりました。



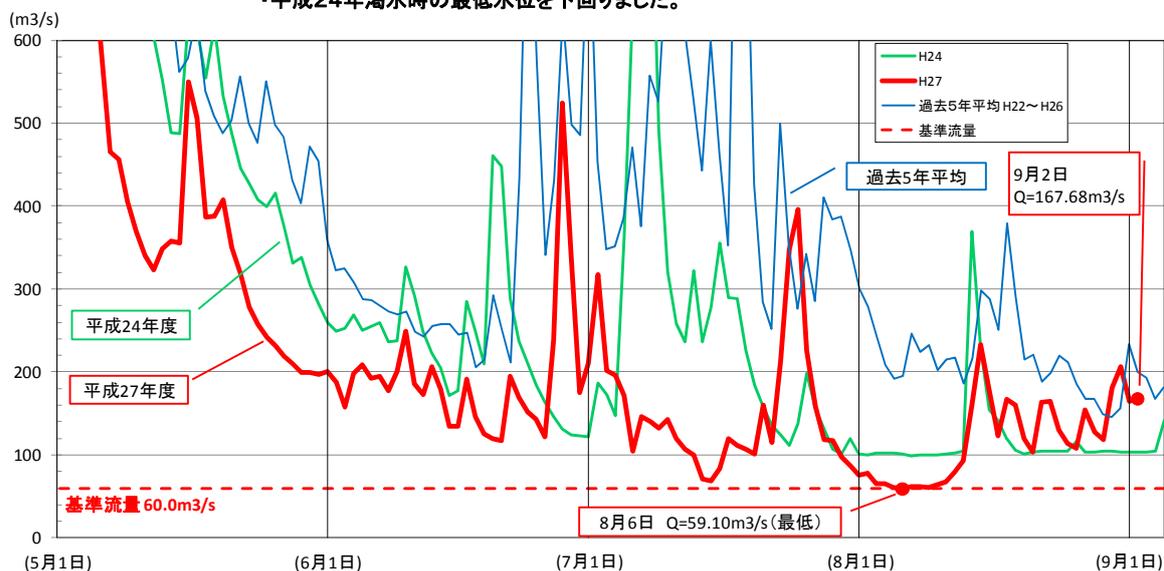
最上川(基点橋)

・最低流量付近(8/5)と最近(9/2)の河川状況の比較



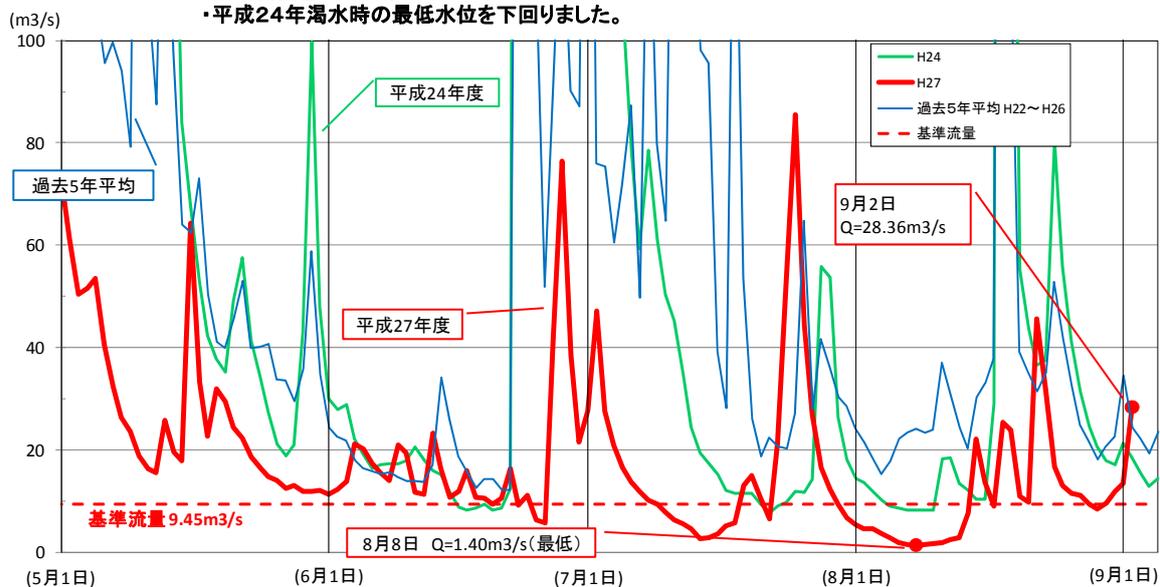
◆最上川の流況(高屋観測所)

- ・基準流量付近の流量が10日間程度続き、うち1日基準流量を下回りました。
- ・平成24年渇水時の最低水位を下回りました。



◆鮭川の流況(真木観測所)

- ・基準流量を33日下回りました。
- ・平成24年渇水時の最低水位を下回りました。



平成27年渇水に対し白川ダム関係機関が一丸となって取り組んだ結果、西置賜地域の水稲かんがいを守ることができました

①降雨量とダムの状況【(1)~(2)参照】

- ダム流域の7月~8月の累加降雨量は、昭和56年**ダム完成以来最低規模**を記録。
- ダムへの7月~8月の総流入量は、昭和56年**ダム完成以来最低**を記録。
- ダムの8月29日には平成27年の**最低貯水位（貯水率18%）**を記録。

→「農業用水等への安定的な水供給への影響」や「河川環境の悪化」が懸念された。

②ダムの取組み【(3)参照】

- 白川ダムでは、関係する利水者と綿密な連絡調整と協力体制の強化を図った。

→その結果、ダムからの補給と利水者の節水・番水制等の水利用の工夫により、**安定的な水供給（補給）が可能となった。**

③関係機関の取組み

- かんがい用水供給区域の利用者である白川土地改良区では、**「6月17日からの番水制による水利用の工夫」と「8月19日より25%程度の節水努力」**を行った。
- 発電用水利用者である山形県企業局村山電気水道事務所では、かんがい用水の節水によりダム放流量が減少し発電最低取水量を下回ったため、8月19日から発電を停止し水供給の安定化に寄与した。

④白川ダムからの利水補給による効果

- 置賜地域1市2町（長井市、飯豊町、川西町）**約4,000haの水稲かんがい用水を確保し、**水稲の健全な生育に寄与した。
- 飯豊町上水道における給水人口**約7,200人の水道用水を確保し、**安定的な水道水供給に寄与した。

(1)平成27年渇水における白川ダムの概況

◆ダム湖貯水位

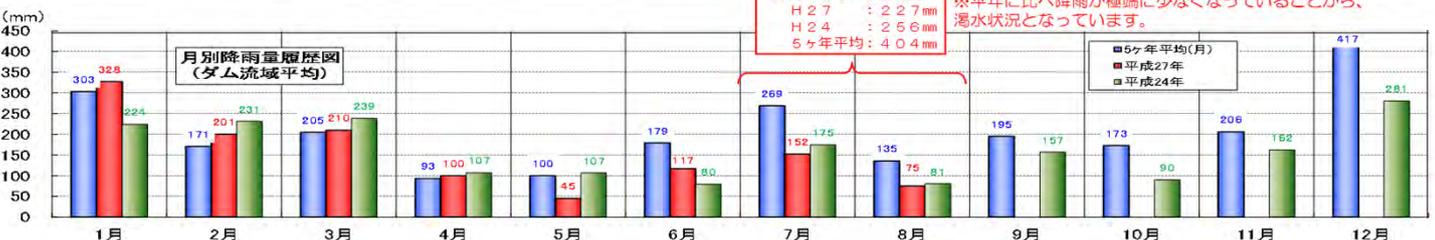
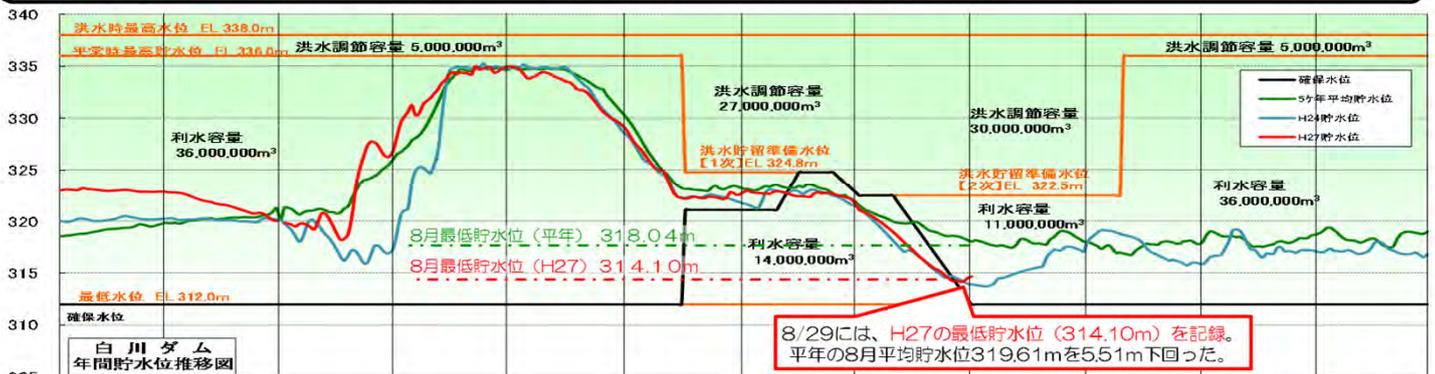
- ダム湖の貯水位は、8月29日には平成27年の最低貯水位（314.10m）を記録。
- これは、平年（近5ヶ年平均）の8月最低貯水位318.04mを3.94m下回った。

◆7月~8月の降雨量

- ダム流域の7月~8月の累加雨量は、平成27年の最低貯水位を記録した8月29日時点（7/1~8/28 198mm）では、昭和56年の**ダム完成以来最低**※を記録した。

※ これまでの7月~8月の最低累加雨量は、昭和59年の224mm/2ヶ月（平成27年：227mm/2ヶ月）

- その後のまとまった降雨（8/29~8/31 29mm）により、ダム湖の貯水位も回復傾向にある。



(2) 平成27年渇水における白川ダム の概況

◆貯水池の状況

- 白川ダムでは、ダムから補給した結果、約2ヶ月で貯水位が約8.7m低下。
- 8月29日には、平成27年の最低水位(314.10m)を記録。
- 貯水量も約1,990千m³(貯水率18%)まで低下した。



平成27年7月3日撮影



平成27年8月28日撮影



平成27年7月3日撮影

(7月3日)
貯水位 EL. 322.83m
貯水容量 11,438千m³
貯水率 81%



平成27年8月28日撮影

(8月29日)
貯水位 EL. 314.10m
貯水容量 1,990千m³
貯水率 18%

(3) 平成27年渇水における関係機関との連携・調整 (白川ダム)

- ◆5月以降の少雨傾向により、農業用水等への安定的な水供給への影響や河川環境の悪化が懸念されたため、8月6日に「最上川水系渇水対策支部(注意体制)」を設置し、適正な取水管理や渇水時の迅速な対応を図るため、利水関係者等と連携を図り、渇水被害の防止・軽減に努める。
- ◆8月7日に「最上川水系渇水情報連絡協議会(幹事会)」を開催し、関係機関の情報交換を行い、認識の共有を図り、今後の節水への協力を呼びかける。
- ◆8月中旬には、白川ダムの利水関係機関と貯水位低下に伴う今後の取水計画及びダムからの補給計画について調整をした。
その結果、8月19日より、かんがい用水供給区域の利用者による**25%程度の節水努力**と発電用水利用者による発電停止を行った。
- ◆8月25日に「第1回 白川ダム利水調整会議」を開催し、白川ダムの状況と利水状況等について、関係機関と情報交換・共有を行い、8月19日より実施している**25%程度の節水を継続し、かんがい期間(9/8)のかんがい用水供給確保に努めていく**ことを合意。

適切な流水管理に向けた取組みと渇水対策体制の経緯一覧

月 日	会議名等	議事内容等
6月1日	最上川水系渇水情報連絡協議会	関係機関との連絡調整・協力体制等の共有
6月18日	白川水利調整会議	白川ダム利水関係機関との連絡調整・協力体制等の共有
8月6日	最上川水系渇水対策支部(注意体制)	
8月7日	最上川水系渇水情報連絡協議会(幹事会)	最上川流域の流況状況と今後の予報を報告し、渇水対策について意見交換を実施
8月11日~20日	白川ダムの利水関係機関との利水調整	8月19日より、かんがい供給区域の25%程度の節水努力及び発電停止を決定。
8月25日	第1回 白川ダム利水調整会議	白川ダムの状況と利水状況等について、関係機関と情報交換・共有を行い、今後の対応について意見交換を実施。